

## 9.13 交通渋滞

### 9.13.1 現況調査

#### (1) 調査事項及びその選択理由

調査事項及びその選択理由は、表 9.13-1 に示すとおりである。

表 9.13-1 調査事項及びその選択理由

調査事項	選択理由
①交通量等の状況 ②道路等の状況 ③土地利用の状況 ④規制等の状況	事業の実施に伴い交通渋滞の発生又は解消等、交通量及び交通流の変化が考えられることから、計画地及びその周辺について、左記の事項に係る調査が必要である。

#### (2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とした。

#### (3) 調査方法

##### 1) 交通量等の状況

調査は、「平成 22 年度 全国道路街路交通情勢調査(道路交通センサス)交通量調査報告書」(平成 24 年 3 月 東京都建設局道路建設部)、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会資料」(国土交通省関東地方整備局)、「平成 26 年中の都内の交通渋滞統計(一般道路、首都高速道路)」(警視庁)等の既存資料及び現地調査によった。

##### 2) 道路等の状況

調査は、「道路地図」等の既存資料を用い、計画地周辺の道路等の状況の整理によった。

##### 3) 土地利用の状況

調査は、「東京の土地利用 平成 23 年東京都区部」(平成 25 年 5 月 東京都都市整備局)、「江東区都市計画図」(平成 26 年 4 月 江東区都市整備部)等の既存資料の整理によった。

##### 4) 規制等の状況

調査は、「道路地図」等の既存資料の整理によった。

## (4) 調査結果

## 1) 交通量等の状況

## ア. 既存資料調査

交通量等の状況は、「9.1 大気等 9.1.1 現況調査 (4) 調査結果 6) 自動車交通量等の状況」(p.74 参照)に示したとおりである。計画地周辺における平日の交通量は 6,329～102,709 台/日、大型車混入率 15.1～49.3%である。

「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会資料」によると、計画地北側の都道 304 号日比谷豊洲埠頭東雲町線と都道 484 号豊洲有明線の交差する晴海大橋南詰交差点が交通渋滞箇所に特定されている。また、「平成 26 年中の都内の交通渋滞統計 (一般道路、首都高速道路)」によると、計画地に最も近い一般道においては、晴海通りの築地四丁目交差点の下り方向において 0.4km の渋滞が発生している。

## イ. 現地調査

現地調査による計画地周辺の交通量の状況は、「9.1 大気等 9.1.1 現況調査 (4) 調査結果 6) 自動車交通量等の状況」(p.74 参照)に示したとおりである。平日の交通量は、7,119～29,023 台/日、大型車混入率は 18.8～38.7%、休日の交通量は、6,235～24,379 台/日、大型車混入率は 13.9～26.3%である。

## 2) 道路等の状況

また、計画地周辺の主な道路の種類・規格等は表 9.13-2 に示すとおりである。

表 9.13-2 計画地周辺の主な道路の種類・規格等

地点番号	路線名	道路の種類	道路の規格	車線数
No.1	特別区道江 615 号線	市町村道	第 4 種第 1 級	4

注) 表中の地点番号は、図 9.13-1 (p.280 参照)に対応する。

## 3) 土地利用の状況

土地利用の状況は、「9.1 大気等 9.1.1 現況調査 (4) 調査結果 4) 土地利用の状況」(p.65 参照) に示したとおりである。

計画地周辺には、教育施設等として13施設(幼稚園3、小学校3、中学校3、高等学校1、大学3)、福祉施設として22施設(保育園・児童施設20、高齢者福祉施設・障害者福祉施設2)、医療施設として2施設(病院2)、その他1施設の合計38施設が存在する。また、公園・緑地・児童遊園は合わせて13箇所存在する。

## 4) 規制等の状況

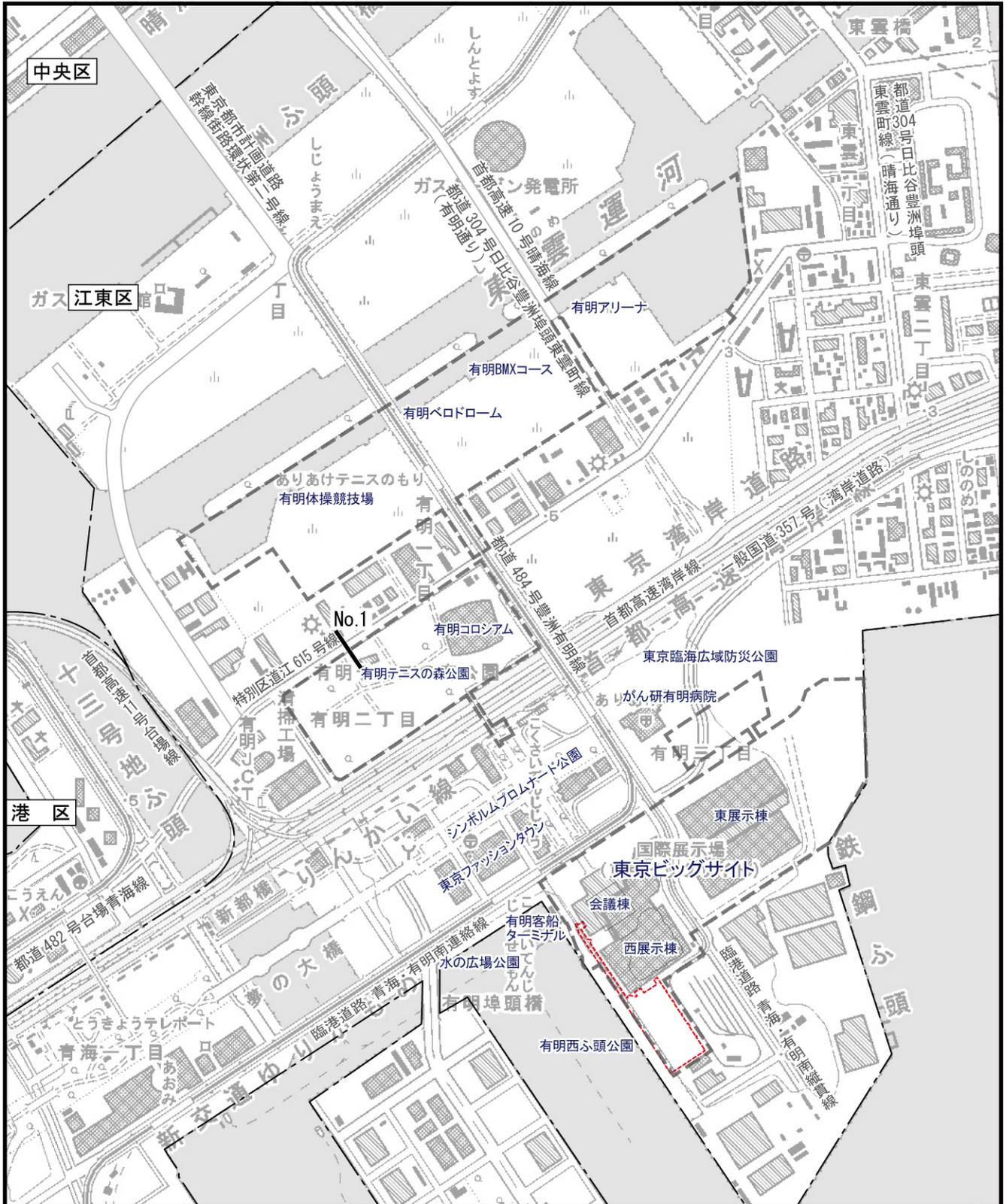
計画地周辺の主な道路の車線数は4車線であり、規制速度は50km/hとなっている。

展示会等のイベント時には東京ビッグサイト前交差点から鉄鋼ふ頭前交差点にかけて常駐警備員による交通整理が行われている。

表 9.13-3 計画地周辺の主な道路の規制速度

地点 番号	路線名	規制速度 (km/h)
No.1	特別区道江 615 号線	50

注) 表中の地点番号は、図 9.13-1 (p.280 参照) に対応する。



凡例

- 会場エリア
- 計画地
- 区界
- 道路交通騒音及び振動
- 断面交通量調査地点(No.1)



Scale 1:15,000



図 9.13-1  
現地調査地点（自動車交通量）

### 9.13.2 予 測

#### (1) 予測事項

予測事項は、工事用車両の走行に伴う交通渋滞の発生又は解消等、交通量及び交通流の変化の程度とした。

#### (2) 予測の対象時点

予測の対象時点は、2020 年東京大会の実施に伴う建設工事、競技観戦者の来場等で交通量及び交通流に変化が生じるとされる時点又は期間のうち、大会開催前とした。

#### (3) 予測地域

予測地域は、計画地及びその周辺とした。

#### (4) 予測手法

予測手法は、工事車両の走行に伴う交通量の変化の程度を、周辺交通量と比較する方法によった。

#### (5) 予測結果

工事用車両の走行ルートは、図 7.2-7 (p.28 参照) に示すとおりである。工事用車両の走行ルートは、交通渋滞による影響を軽減するために、極力、沿道に住居等が存在しない湾岸道路等を利用する計画とする。

工事用車両が走行する特別区道江 615 号線における、工事用車両台数が最大となる時期の周辺交通量に占める工事用車両の割合は、表 9.13-4 に示すとおり約 1.5%と予測する。

表 9.13-4 工事用車両の走行に伴う交通量の予測結果

(単位:台/日)

予測地点		交通量			工事用車両の割合
		現況交通量	工事用車両交通量	現況交通量及び工事用車両交通量の合計	
No. 1	特別区道江 615 号線	10,927	168	11,095	約 1.5%

注) 表中の地点番号は、図 9.13-1 (p.280 参照) に対応する。

### 9.13.3 ミティゲーション

#### (1) 予測に反映した措置

- ・ 工事用車両の集中稼働を行わないよう、工事工程の平準化に努める計画である。
- ・ 工事用車両の走行ルートは、有明地区における他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、極力、沿道に住居等が存在しない湾岸道路等を利用する計画とする。

#### (2) 予測に反映しなかった措置

- ・ 朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。
- ・ 工事用車出入口に交通整理員を配置し、工事用車両の出入りに伴う一般交通流への影響を低減する。

### 9.13.4 評価

#### (1) 評価の指標

評価の指標は、交通流の現況とした。

#### (2) 評価の結果

工事用車両が走行する特別区道江 615 号線における、工事用車両台数が最大となる時期の周辺交通量に占める工事用車両の割合は、約 1.5%と考える。

大会開催前の工事用車両の走行に伴い、周辺交通流に対して工事用車両が増加するが、工事用車両の走行ルートは、有明地区における他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するために、極力、沿道に住居等が存在しない湾岸道路等を利用するほか、工事工程の平準化に努める。また、工事用車両の出入口に交通整理員を配置する等、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないよう十分な配慮を行いつつ、工事を実施することから、評価の指標は満足するものと考ええる。